

YAYOIのキラリ人

やよい梅牟礼陣太鼓保存会

会長 三浦 正美 さん
副会長 三浦 秀子 さん

弥生担当の地域おこし協力隊員、藤原がミタ！！ YAYOIのキラリ人を紹介するコーナーです。今回は、来年で30周年を迎えられる「やよい梅牟礼陣太鼓保存会」の三浦さんご夫婦にお会いしてきました。



● 演舞に感動！
2年ほど前に、道の駅やよいのイベントで、やよい梅牟礼陣太鼓保存会の演舞を初めて見ました。太鼓の音の響きと躍動感のある動きに不思議と惹きつけられて、力強くもたおやかさがあり、聞き入り見入ってしまったのを覚えています。その後までもなくしてから、弥生振興局にご夫婦が用事で来られていたのを見かけて、「この間の演舞は本当に素敵でした！」と思わず私の方から声をかけていました。

● 現在に至るまでの活動
平成4年12月に16名で発足。発足当初のメンバーは大人のみで、月1回、奈良県から飛鳥大五郎さんを講師で迎えて教えていただきながら古いタイヤを使って太鼓をたたく練習から始まりました。梅牟礼城主の佐伯惟治の壮絶な戦いの史実を元に「やよい梅牟礼陣太鼓」の演目はその頃に創作されました。

そして、いまは、5歳から高校生までが20名、大人が5名の総勢25名のメンバーからなっています。年齢ごとに、小若（こわか）、中若（ちゅうわか）、本若（ほんわか）と呼んでおり、本若が、指導者として小若や中若を教えています。小さい頃から太鼓に親しみ、本若になると教えていくような流れが自然とできてきたようです。こうして来年30周年を迎えるやよい梅牟礼陣太鼓保存会ですが、皆が同じように思いをもって活動できるようにと10年ほど前に『会員宣言』を作りました。

やよい梅牟礼陣太鼓保存会『会員宣言』

- 一、人をいたわります
- 一、「ありがとう」「ごめんね」「さよなら」を言います
- 一、がまんをします
- 一、卑怯なふるまいをしません
- 一、チームを誇り年上を敬います
- 一、報告・連絡・相談を大事にします
- 一、夢に向かってがんばります
- 一、やっはならぬ、やらねばならぬ、ならぬことはならぬものです



毎週水曜日 19:00～22:00
弥生地区公民館で練習しています。
太鼓を体験してみたい方は是非、事務局までご連絡ください。
<電話 090-6290-1169 (三浦まで)>

編集後記

令和2年度は新型コロナの脅威に怯え、イベント自粛も相次いだ寂しい1年でしたが、ワクチン接種も始まり、収束に向けて少しずつ晴れ間が見えそうです。そんなコロナ禍の中でも道の駅やよいは元気があり活気が溢れています。令和3年度からはSUP体験の他、レンタサイクルも始まるそうです。今後は周辺環境を活かしたアクティビティに力を入れるとのこと楽しみですね！（J.T）

発行：弥生まちづくり協議会
〒876-0112
大分県佐伯市弥生大字上小倉 656-1
(弥生振興局内)
TEL：0972-46-1111

もっと！ 弥生の魅力と旬な人、情報等をお届けするニューズペーパー

やよい通信 vol.4 2021 3月

発行：弥生まちづくり協議会



生姜の町・やよい
イメージキャラ
しょうがくん

弥生地区は佐伯市中心部からほど近く、自然もほどよい暮らしやすい地域です。この弥生地区を「もっと！」楽しむために、おもしろく役立つ情報を不定期でお届けしています。

Topics

- 1：道の駅やよい20周年を迎えて(20周年祭の情報も！)
- 2：番匠おさかな館展示情報 特別展や青いアユ等
- 3：特集 5月から道の駅で始まるアクティビティ、SUP体験について
- 4：四季の森入口に鳥居が出現!?
- 5：地域おこし協力隊はミタ！！ YAYOI★のキラリ人 (やよい梅牟礼陣太鼓保存会)



道の駅やよい20周年！！



平成13年オープン時の様子



オープニングセレモニー

平成13年の弥生びかいち前



平成26年 弥生びかいち改築落成式典



改築後の弥生びかいち

平成13(2001)年4月28日にオープンした道の駅やよいが、もうすぐ20周年を迎えます。旧弥生町が建設した道の駅やよいは大分県では10番目の登録、国道10号沿いでは初の道の駅でした。当初は「弥生びかいち」と「番匠おさかな館」の2施設の営業から始まり、遅れて建設した「やよいの湯」は翌年10月1日にオープンし、水族館とお風呂が楽しめる人気の道の駅になりました。

20年という歴史の中で、道の駅やよいを取り巻く環境も大きく変化しました。平成の大合併や高速道路の開通、熊本地震や大型台風等の自然災害、他の道の駅や類似施設も増え、次第に売り上げは減少しました。オープン当初は弥生町による第3セクター方式による運営でしたが、より民間的発想を求めて指定管理者を募集、平成31年度から「さいき海の市場〇」を運営する「佐伯海産株式会社」が管理・運営することになりました。

佐伯海産に変わって再び活気を取り戻した道の駅やよいですが、令和2年は新型コロナウイルスの流行により、暗雲立ち込めた1年となりました。しかし、その中でも道の駅やよいはコロナに負けずに活気で溢れていたように見えます。ワクチン接種が開始されたとはいえ、まだまだ収束がみえない令和3年で20周年を迎える道の駅やよい。今後について木許駅長にお話を伺いました。

地域の皆様に支えられ、道の駅やよいが4月で20周年を迎えます。昨年は世界中が新型コロナウイルスの発生により国内も大混乱となる中、道の駅やよいの運営も大変厳しいものがありました。スタッフ、生産者、お客様を新型コロナウイルスからどう守りながら運営するか本当に悩み、その結論が「ウィズ・コロナ」で営業を行なう事で、佐伯市内、弥生地域の経済と活気を失わない為にも、安全に気を配りながら安心して来店いただける様に努力し営業が出来たと思っております。また、コロナ禍の中であっても、多くのイベントが実施できたことは皆さまのご協力のおかげです。

「ゼロ・コロナ」をいち早く願いますが、「ウィズ・コロナ」はしばらく続けなくてはならないでしょう。そんな中ではあります「道の駅やよい20周年記念祭」を4月中旬に計画しています。新型コロナウイルスの状況にもよりますが、盛大に開催したい気持ちでいっぱいです。これからは道の駅やよいが地域に愛され必要とされるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと思います。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



20周年に向けた意気込みを語る 木許博基 駅長

もっと！ 弥生の魅力と旬な人、情報等をお届けするニューズペーパー

やよい通信 vol.4 2021 3月

珍しい青いアユに、オイカワとカワムツの雑種
(通称:オイムツ)も展示!特別展「メダカの国」も
開催で番匠おさかな館がおもしろいで〜



●特別展「メダカの国」は?
一昔前はメダカの改良品種といったらヒメダカや白メダカぐらいしかいませんでしたが、2000年代に入ってから様々な品種が作られメダカブームが起きています。メダカは繁殖させやすく自分で品種改良できるのも魅力の一つです。その一方で増えすぎたメダカを川に放流するケースが後絶たず、昨年は番匠川でも改良メダカが見つかっています。改良メダカが野生のメダカと交配すると、色がついたメダカが産まれる危険があり、遺伝子の汚染に繋がります。この特別展はメダカの色んな品種を紹介しその魅力を伝えると共に、メダカの飼いやマナーについても分かる内容になっているので、是非見に来てくださーいね!



美しい青アユ



オイカワとカワムツの雑種(オイムツ)

●青いアユとオイムツってどんな魚?
青いアユとは突然変異により、脳下垂体の一部が発達しないアユで、ホルモンが分泌されないことにより青白い体色をしていて「青アユ」や「コバルトアユ」と呼ばれています。通常のアユは寿命が1年で、秋に産卵後は死んでしまうのですが、このアユは生殖腺が発達せず繁殖に変わらないためか3年も生きた記録がある不思議なアユです。
オイムツとは、オイカワ(シラハエ)とカワムツ(ヤマトハエ)の雑種なんです。両方の名前を合わせて「オイムツ」や「オイカワムツ」なんて呼ばれ、両方の特徴を合わせた姿をしています。このような雑種は異なる種がペアになるのではなく、例えばカワムツのペアが産卵中、オイカワのオスが慌てて一緒に放精し雑種ができてしまう珍しいケースと考えられます。このオイムツはオスの特徴を持っていて夏に夏に産卵が楽しめますね。
青アユは上・中流水槽、オイムツは下流水槽にどちらも1匹ずつ泳いでいるので探してみてください。

見て!見て!
必死で訴える
宮島 尚貴さん



特集

番匠川で新しいアクティビティ、SUPが誕生!!

5月から、道の駅やよいSUP体験ができるようになります。SUPの魅力や体験内容について番匠おさかな館の立川さんに聞いてみました。

●SUPとはどんな体験ですか?
SUP(サップ)とは、スタンドアップパドルボード(Stand Up Paddleboard)の略で、ボードの上に立ってパドルを漕いで水上を移動するウォータースポーツです。ハワイ発祥でサーferたちが波がないときにサーフィンの代わりに練習したのが始まりで、立って乗るのが基本ですが、カヌーのように座って漕いだり、ボードの上に寝転んで休むこともできます。
令和元年に番匠サップクラブを立ち上げ、道の駅やよい周辺でモニター体験を始めたので、見かけた人も結構いるのではないのでしょうか。

●乗るのは難しいですか?
ボードから立ちあがるとバランスが少し必要ですが、すぐに乗れるようになります。バランスを取りながらパドルを漕いで進むので体幹も鍛えられるんですよ。最初はボードから落ちる人もいますが、落ちても番匠川の清流が受けとめてくれますし、落ちるのもSUPの面白さですね。
ボードの中心に肩幅程度に足を開いて立つパラレルスタンスが基本ですが、慣れてきたら足を前後に開いてボードの後方で立つサーフィンスタンスができると方向転換がしやすいです。

SUPを熱く語る
番匠おさかな館 &
番匠サップクラブの
立川 淳也さん



↑
パラレルスタンス



サーフィンスタンス→



親子SUP

●SUPをやろうと思ったきっかけは・・・
大学の後輩がSUPで楽しんでいるのをフェイスブックで見て、これを番匠川でやったら面白いだろうなと思いました。道の駅やよい周辺の河川環境を調べると、流れが穏やかで深さのある水域が広くあり初心者でもSUPが楽しめる環境であることが分かりました。番匠川は水もきれいですし、SUPをやらなきゃ勿体ないです。

●SUPを使ったどんな体験がありますか?
まずは指導を含めた90分の初回講習を受けていただき、安全にSUPが乗れると判断できた方にはカードを発行します。カードを発行された方はボードとその他一式がレンタルでき、決められた範囲を自由に使えるようにしたいと考えています。
SUPが乗れるようになった方には、番匠川・川下りもお勧めです。道の駅やよい裏の井崎川から出発して、番匠川と合流したら下流に向かって榎野地区まで目指す全長約3kmのコースです。開放感がある広い水域をひたすら漕いで進み、途中、番匠大橋やJR日豊本線、榎野橋や東九州自動車道の高架橋の下を通過します。お勧めはJR日豊本線鉄橋周辺で、時間が合えば電車が通るところをバックに写真が撮れます。JR日豊本線鉄橋下には小さな中州があり、ここで湯を沸かしてティータイムで休憩します。こういった場所でおやつを食べたりお茶を飲むのって特別な雰囲気です。休憩中でも真上を電車が通過して迫力満点です。ゴール地点の榎野地区は自然豊かな環境で、体力と時間に余裕があれば散策します。密林のジャングルの中を漕いでいるような気分で、アドベンチャー感が半端ないです。SUPで行かなければ見れない景色がそこにあります。
その他、小さなお子さんを前に座らせてお父さんお母さんが漕いであげる親子SUPや、ロープで固定したボードの上で行なうSUPヨガなど楽しい企画もしていきたいと考えています。



井崎川かっぱ橋の下を通過



JR日豊本線鉄橋下



SUPヨガ(井崎川かっぱ橋)

●最後に一言PRを
SUPに乗って見る番匠川の景色は、普段何気なく見ている景色をより価値あるものに見せてくれ、川や自然をもっと大切にしたいと思わせてくれます。
気になる体験料は、まだ調整中で4月に道の駅やよいホームページで公開する予定です。体験は小学4年生以上を予定していますので、お楽しみに。



四季の森入口に鳥居が出現!?

道の駅裏の井崎川堤防治いを上流へ100mほど進み、水面橋を渡った対岸に赤い鳥居が現れました。ここから階段を登っていくとフットパスコースに続きます。
きつい階段もありますが木製遊歩道が整備されているので、森林浴を楽しみながらお散歩をしてみれば!小鳥のさえずりも聞こえてきますよ。

※鳥居の柱には新型コロナウイルス撲滅祈願と書かれていました。

